

温室効果ガス排出量 検証報告書

2026年3月17日

日鉄鉱業株式会社 様

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者 前田 雅彦



1. 検証の対象及び目的

日鉄鉱業株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{*1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定情報（エネルギー使用量情報を含む。以下、「算定情報」という。）の「2024年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2024年度^{*2}（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の以下の算定情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象において使用された軽油、A重油、C重油、ガソリン、灯油、コークス、LPG、都市ガス、廃油、爆薬、及び、石灰石の焼成に伴って直接的に排出されるCO₂排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象において使用された電力、及び、地域熱供給に伴って間接的に排出されるCO₂排出量

3) スコープ3 GHG 排出量

事業者の事業活動におけるスコープ3カテゴリ1, 2, 3, 10, 11^{*3}において排出されるGHG排出量

4) エネルギー使用量

スコープ1, 2 算定に伴う、各エネルギーの使用量の合計値（MWh単位換算）

検証の目的は、事業者の算定情報が算定方法^{*4}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し算定情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された算定情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements) の要求事項に従って算定情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の算定情報を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認を事業者の本社訪問を含め実施
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- 鳥形山鉱業所、大分事業所（津久見石灰石株式会社、及び、津久見共同採掘株式会社を含む）の現地訪問による、算定対象範囲、排出源、集計体制、及び、算定プロセスの確認
- GHG 排出量等情報の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2024 年度の算定情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

| 検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e) | |
|--------------------------------------|-----------|
| スコープ 1 | 183,451 |
| スコープ 2 ^{※5} | 64,425 |
| スコープ 3 ^{※6} | 9,972,419 |
| スコープ 3 内訳 | |
| カテゴリ 1 | 294,318 |
| カテゴリ 2 | 21,160 |
| カテゴリ 3 | 29,578 |
| カテゴリ 10 | 9,316,665 |
| カテゴリ 11 | 310,698 |

| 検証されたエネルギー使用量 (MWh) ^{※7} | |
|-----------------------------------|---------|
| スコープ 1, 2 計 | 588,718 |

NOTE:

※1：事業者の連結対象組織（海外含む全 23 社）を算定対象組織とする。

※2：海外の 3 社の算定対象期間は、2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日としている。

※3：スコープ 3 の各カテゴリの概要

- カテゴリ 1（購入した製品・サービス）：購入した原料、サービスやカテゴリ 2 対象外の資材等を対象
- カテゴリ 2（資本財）：建設、購入した資本財を対象
- カテゴリ 3（スコープ 1, 2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）：使用した燃料、電力、熱を対象
- カテゴリ 10（販売した製品の加工）：販売した加工用製品が次工程で使用される際のプロセス排出量を対象
- カテゴリ 11（販売した製品の使用）：販売製品の電力使用、及び、採掘、販売した蒸気由来の GHG を対象

※4：スコープ 1, 2, 3 の算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.7)」、
 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.5)」、及び、事業者が作成した
 「算定手順書」

※5：電力の排出係数：

- ・国内拠点は電気事業者別、メニュー別基礎排出係数を使用（マーケットベース）
- ・海外拠点は国別の排出係数を使用

※6：スコープ 3 の値 (t-CO₂e)は各カテゴリの小数点以下も含めた合計値

※7：エネルギー関連活動におけるエネルギー消費量を指し、再生可能エネルギーを含む

以上